



ボルネオ島の熱帯多雨林の 保全・利用と修復を学ぶ 国際交流プログラム2025

参加者
募集

世界で最も生物多様性の高いボルネオ島の熱帯多雨林をテーマに、現地のムラワルマン大学林学部が実施する短期交流プログラムです。1960年代からインドネシア政府の進めた開発によって失われた熱帯多雨林の保全と持続的な利用、そして修復の現場を実際に訪問することで、熱帯多雨林について包括的に学習することが可能なプログラムです。

日程

2025年2月15日－2月28日（予定）

（関西国際空港発着、現地滞在は2/16－2/27の12日間）

開催地

ボルネオ島東部 インドネシア東カリマンタン州サマリダ市と周辺地域

募集
対象

京都府立大学、三重大学、京都大学で森林科学や環境科学を学ぶ学部生・大学院生
熱帯雨林の保全や修復、動植物の生態系、木質資源の有効活用と温暖化対策などに高い関心を持つ学生。英語能力ならびに日常会話程度の英会話能力は必須。

募集
人数

3大学合わせて12名

※応募多数の場合、主催者側で選考を行います。選考の結果は11月中に応募者宛にメールで連絡する予定です。

参加費

3万円＋海外旅行保険料金（1.4万円程度）＋ビザ取得費用（5千円程度）

（現地までの旅費及び現地での宿泊費は主催者側で負担します。）

締切

~~2024年11月10日（日）~~ → 締切延長 11月17日（日）まで！



主催

ムラワルマン大学森林学部

協賛

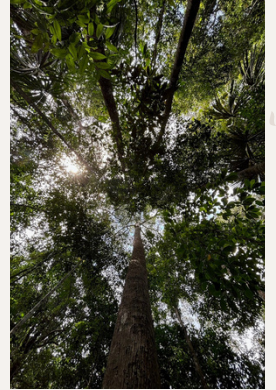
株式会社林田順平商店

※詳細は次ページ(裏面)参照


Keyword：生物多様性，非木材林産物，ボルネオ鉄木，遺伝子資源

内容
(予定)

- ・ムラワルマン大学の学生との国際交流，キャンパス・研究サイト見学
- ・ムラワルマン大学スタッフによるボルネオ熱帯多雨林の生物多様性とその保全・利用に関する英語講義
- ・ムラワルマン大学の研究林や国立公園など熱帯多雨林の見学
- ・ボルネオ鉄木（現地名：ウリン，英名：ピリアン，クスノキ科の広葉樹）の植林を中心としたアグロフォレストリー援助プロジェクトへの参加
- ・現地の歴史と木材利用を学ぶカルチュラルツアー



申込
方法

リンク先のフォームをご利用ください 
<https://forms.gle/Gu3cdWJzu1Ss3Pxi6>



注意
事項

- ・日程やメニューは変更の可能性があります。
- ・主催者側が設定する海外旅行保険（1.4万円程度）への加入が必須です。保険料は自己負担になります。インドネシア入国時のビザ（VOA）取得費用（5千円程度）も自己負担となります。
- ・参加者には12月21日（土）に実施する参加者向け事前授業・説明会に必ず参加していただきます。
- ・関西国際空港集合・解散で，途中参加/途中離脱はできません。
- ・各大学の海外渡航に関する手続きを必ず済ませてもらいます。
- ・渡航時に必要な条件をクリアしている必要があります。
- ・2025年6月から7月(予定)にかけてムラワルマン大学学生を招聘し日本(主に京都, 三重, 大阪)で研修を行います。その研修の企画運営の全部または一部に参加に必ず参加していただきます。
- ・本プログラムは現地で熱帯林修復の資金援助を行っている(株)林田順平商店の援助により格安の費用で参加が可能です。



主催

ムラワルマン大学森林学部
Faculty of Forestry, Mulawarman University
<https://fahatan.unmul.ac.id/>



協賛

株式会社林田順平商店
<http://jhayashida.co.jp/>

協賛企業スタッフの
体験レポート
※昨年の行程の一部です



問い合わせ先

京都府立大学 神代 圭輔（生命環境科学研究科）✉ kojiro@kpu.ac.jp
三重大学 瀧上 佑樹（生物資源学研究科）✉ fuchigami@bio.mie-u.ac.jp
京都大学 神崎 護（京都大学名誉教授）✉ kanzaki.mamoru.j90@kyoto-u.jp
上記3名と協賛企業から林田元宏氏など3名ほどが手分けして随行する予定